

高等学校の学科改編について

高校教育課

1 改編理由

- (1) 旧第3通学区における急激な少子化の進行に伴い、学級減の必要性が生じている中、普通科と職業科のバランスを考慮したとき、専門高校においても募集定員の対応が必要であるため、学科数を一つ減じることとした。
- (2) また、1学科1学級の専門高校の状況を鑑み、学科全体を見直すことで社会の大きな変化に対応した新たな学科を設置することとした。
- (3) 以上の趣旨に沿って、長野県立高等学校管理規則第2条に定める学科の改編を行う。

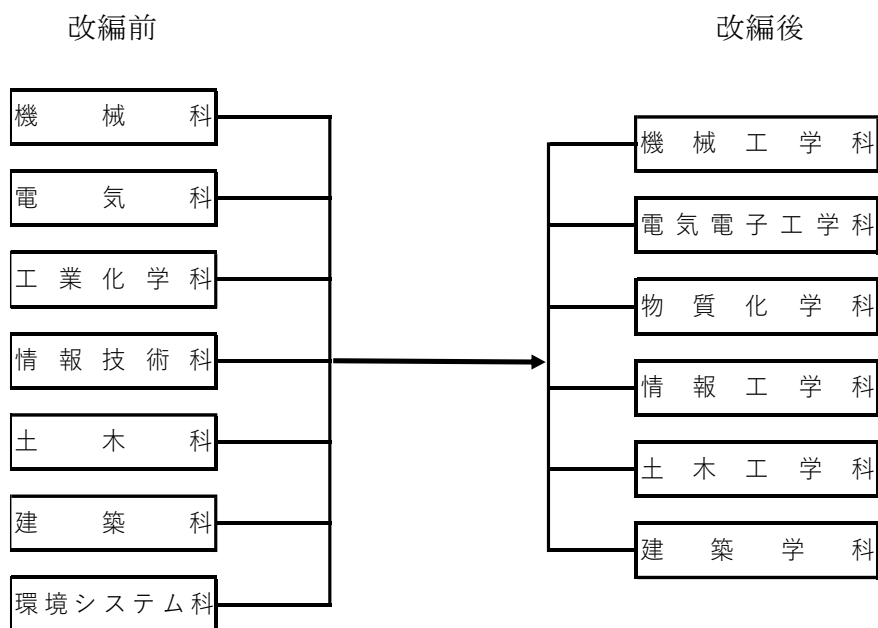
2 実施時期

平成31年4月1日

3 改編内容

(1) 長野工業高等学校

ア 全日制



学校名	新学科名	新学科の概要
長野工業 【全日制】	ア 機械工学科 イ 電気電子工学科 ウ 物質化学科 エ 情報工学科 オ 土木工学科 カ 建築学科	<p>1 改編理由</p> <p>① 旧第3通学区における急激な少子化の進行に伴い、学級減の必要性が生じている中、普通科と職業科のバランスを考慮したとき、専門高校においても募集定員の対応が必要であるため、学科数を一つ減じることとした。</p> <p>② 一方、平成27年の「長野県産業教育審議会答申」において、今後の望ましい産業教育のあり方は、「専門分野ごとの実学主義を踏まえた基礎・基本を重視し、汎用性を涵養するとともに、専門分野の枠を越えた多面的な職業能力を身につけ、知識基盤社会に柔軟に対応していく力をつけることが必要」とされた。</p> <p>③ また、産業界は、第4次産業革命といわれるほど高度情報技術が発達することで、職業人に求められる能力も高度化・多様化しており、AIやロボット技術への期待は、あらゆる分野で大きくなっている。さらに、工業の各分野において環境への配慮は欠かすことのできない課題となっている。そこで、知的財産権・コストマネジメント・環境等を共通の学習項目とし、学科間の横断的な学習をとおして工業全般の理解を深め、汎用的かつ多面的な職業人を育成する必要がある。</p> <p>④ したがって本校では、現行の7学科（機械、電気、工業化学、情報技術、土木、建築、環境システム）から、6学科（機械工学、電気電子工学、物質化学、情報工学、土木工学、建築学）に改編し、急激な少子化の進行に対応するとともに、地域社会に貢献し、長野県はもとより日本および世界のものづくりで持続可能な発展に貢献できる人を育成する。</p> <p>2 学科の内容</p> <p>(1) 学科の目標</p> <p>ア 機械工学科</p> <p>機械加工、機械設計に関する基礎的な知識・技術・技能の習得を図り、コンピュータを利用した設計・製図や工作機械、3Dプリンター等の最先端技術の学習を設定する。また、技能検定など資格取得への挑戦を支援し、環境・エネルギー分野などの学習を取り入れながら、製造業を牽引できる職業人を育成する。</p> <p>イ 電気電子工学科</p> <p>電気工学分野、情報通信技術など、従来の電気に関わる基礎的な知識・技術・技能の習得を図り、電気電子・情報制御の学習を深める。他学科との連携を図りながら、再生可能エネルギーの普及に伴う課題や電力の安定供給と環境に優しい省エネ技術を探究し、電気産業を牽引できる職業人を育成する。</p> <p>ウ 物質化学科</p> <p>化学分析、有機合成など、従来の工業化学に関わる基礎的な知識・技術・技能の習得を図り、表面処理・バイオテクノロジー分野、環境に配慮した新エネルギー分野について学び、幅広く産業界を担う職業人を育成する。</p>

		<p>エ 情報工学科</p> <p>ハードウェア・ソフトウェアなど、従来の情報技術に関わる基礎的な知識・技術・技能の習得を図り、コンピュータ科学とAI・ICT技術といった急速に発展する情報工学を学び、環境に配慮した革新的な技術やイノベーションを創り出せる職業人を育成する。</p> <p>オ 土木工学科</p> <p>環境に配慮した国土の保全、社会インフラ整備など、従来の土木に関わる基礎的な知識・技術・技能の習得を図り、他学科との連携を図りながら、新しい情報機器を活用した測量・施工技術を習得し、建設業を牽引できる職業人を育成する。</p> <p>カ 建築学科</p> <p>環境に配慮した快適な居住空間設計など、従来の建築に関わる基礎的な知識・技術の習得を図り、他学科との連携を図りながら、歴史と文化をふまえた新たなデザインや色彩の創造ができる感性豊かな職業人を育成する。</p> <p>(2) 学科の特徴</p> <p>① 「工業技術基礎」、学校設定科目「産業技術と環境」による各科横断的な学習をとおして、知的財産権、コストマネジメント、環境問題等の基礎を学習し、汎用的かつ多面的な職業人の育成を目指す。</p> <p>② 「課題研究」を学習の集大成と位置づけ、多様な視点で主体的で対話的で深い学びを目指す。1年次から培った資質と能力をもって、夢に挑戦できる学びの充実を図り、生徒の進路実現を図る。</p> <p>③ 企業・大学・地域との連携強化により人材育成組織を発展させ、人材育成支援連絡会を組織することで、これまでより緊密な連携を図る。</p>
--	--	--

長野・日本、そして世界の ものづくりをリードする

長野工業高等学校

育てたい人間像

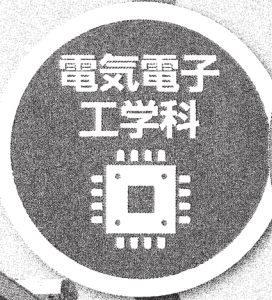
- ・汎用的かつ多面的な職業人
- ・持続可能な社会の実現に貢献できる人
- ・地域社会に貢献できる人

コンピュータを利用した設計・製図や工作機械・3Dプリンター等の最先端技術の学習を実施。これからの製造業を牽引できる職業人の育成を目指す。
<各種技能士>



歴史と文化をふまえつつ、新たなデザインや色彩の創造ができる感性豊かな職業人の育成を目指す。
<建築士、各種技能士>

再生可能エネルギーや電力の安定供給、省エネ技術を探究し、これからの電気業界を牽引できる職業人の育成を目指す。
<電気工事士・電気主任技術者>



新しい情報機器を活用した測量・施工技術を習得し、建設業を牽引する職業人の育成を目指す。
<測量士・土木施工管理士>

表面処理・バイオテクノロジー・新エネルギー分野について学び、幅広く産業界を担う職業人の育成を目指す。
<公害防止管理者・各種技能士>



コンピュータ科学とAI・ICT技術を含む情報工学を学び、革新的な技術によりイノベーションを創出できる職業人の育成を目指す。
<情報処理技術者>

人材育成支援連絡会

企業・大学・地域との連携強化
勤労観・職業観・倫理観の育成

探究的な学習への アプローチ

1年 工業技術基礎

各分野に共通の知識として環境問題・産業構造・職業資格などを学習し、工業人としての基礎・基本を身につける。

2年 産業技術と環境

工業に関する知的財産権、コストマネジメント、環境問題等の学習から各専門分野の深化を図る。

3年 課題研究

学習の集大成と位置づけ、企業・大学・地域と連携し、多様な視点で主体的・対話的で深い学びを実施。

大学 企業 地域 世界

進路実現

普通科目 専門科目